



エースファーム

オーナー	株式会社エース
水田面積	15.5アール
保証量	玄米698kg
形態・品種	特別栽培コシヒカリ
ブランド	「海」
Co2回収	約1550kg



高橋秀紀

暑い日が続いていましたが、台風5号が通り過ぎて以来、雨の目が多くなりました。お盆頃からは、涼しさを感じるようになってきました。稲穂も出揃い少しずつ色づき、実りの秋が近づいて来ているように感じます。

昨年は、収穫期に入って雨の目が続き、ほ場が乾かずコンバインが入らなくて稲刈りが大変でした。今年はその対策として、昨年より1週間早く8月16日に排水作業を行いました。収穫まであと約一ヶ月、おいしいお米が届けられるように最後まで頑張ります。

8月の稲の状態と作業内容

今年は稲の生長が少し早く、出穂期（しゅっすいき）（※4～5割ほどの穂が出た時期）が10日ほど早かったように思います。その後、開花と受粉が行われ登熟期に入り、種子が次第に発育・肥大していきます。この期間の水管理は、間断灌漑といて、水を入れたり止めたりを数日毎に繰り返し、適度な酸素供給と根に力を持たせ、倒伏しないようにします。当然天候も重要ですが、水管理の方法によって食味・品質・収量に影響が出ます。今年は天候に恵まれたので順調に育ちました。そして最後、収穫時期に合わせて落水し水田をしっかりと乾かし稲刈りの日を待ちます。



稲の花



8月中旬の稲



草刈り



排水